

## 6 普通会計の資金収支計算書

資金収支計算書は、一年間の現金の流れを性質別(経常的収支、公共資産整備収支など)に表しています。

本市のどのような活動に資金が必要とされ、どのように賄われているかを把握することができます。

### (1) 経常的収支の部 (詳細については、27頁参照)

経常的収支額	1,056億円	支出合計	3,396億円
		収入合計	4,453億円

この区分には、本市において経常的に行われる行政活動に係る資金収支を計上しています。

この収支区分は、財政指標の一つである「経常収支比率」とほぼ同様の考え方になっており、この黒字額が小さい場合には財政構造が硬直化しているため、行政活動支出の削減に努めることが必要となります。

平成20年度の経常的収支に係る支出合計は3,396億円、収入合計は4,453億円で、収支額が1,056億円となっています。

### (2) 公共資産整備収支の部 (詳細については、27頁参照)

公共資産整備収支額	243億円	支出合計	884億円
		収入合計	641億円

この区分には、道路、公園等の都市基盤や学校・福祉施設等といった公共資産の整備に係る資金収支を計上しています。

平成20年度の公共資産整備に係る支出合計は884億円、収入合計は641億円で、収支額が243億円となっており、収支不足額については市税収入を計上している経常的収支の部の黒字額により賄われています。

### (3) 投資・財務的収支の部 (詳細については、27頁参照)

投資・財務的収支額	771億円	支出合計	1,433億円
		収入合計	661億円

この区分には、地方債の償還や貸付金、基金の運用等の財務活動に係る資金収支を計上しています。

平成20年度は、財務活動に係る支出合計は1,433億円、収入合計は661億円で、収支額が771億円となっています。

### (4) 平成20年度末歳計現金残高 (詳細については、27頁参照)

当年度歳計現金増減額	42億円
期首歳計現金残高	77億円
期末歳計現金残高	119億円

以上の各区分における収支差額の合計は42億円の黒字となっており、平成20年度の期末歳計現金残高は前年度末の77億円から119億円に増加しました。

## 川崎市資金収支計算書(普通会計)

〔 自 平成20年4月 1日  
至 平成21年3月31日 〕

(単位:千円)

1 経常的収支の部	
人件費	108,226,334
物件費	52,396,381
社会保障給付	93,550,081
補助金等	19,248,047
支払利息	15,037,351
他会計等への事務費等充当財源繰出支出	44,898,807
その他支出	6,272,668
<b>支 出 合 計</b>	<b>339,629,669</b>
地方税	293,779,349
地方交付税	466,619
国県補助金等	65,642,772
使用料・手数料	15,161,743
分担金・負担金・寄附金	4,832,872
諸収入	8,192,903
地方債発行額	25,251,676
基金取崩額	5,865,262
その他収入	26,067,594
<b>収 入 合 計</b>	<b>445,260,790</b>
<b>経常的収支額</b>	<b>105,631,121</b>
<b>2 公共資産整備収支の部</b>	
公共資産整備支出	79,690,473
公共資産整備補助金等支出	7,859,801
他会計等への建設費充当財源繰出支出	881,324
<b>支 出 合 計</b>	<b>88,431,598</b>
国県補助金等	14,550,553
地方債発行額	39,274,324
基金取崩額	8,089,440
その他収入	2,194,096
<b>収 入 合 計</b>	<b>64,108,413</b>
<b>公共資産整備収支額</b>	<b>24,323,185</b>
<b>3 投資・財務的収支の部</b>	
投資及び出資金	1,530,000
貸付金	32,151,030
基金積立額	8,038,531
定額運用基金への繰出支出	427,936
他会計等への公債費充当財源繰出支出	11,699,515
地方債償還額	89,409,551
<b>長期未払金支払支出</b>	
<b>支 出 合 計</b>	<b>143,256,563</b>
国県補助金等	0
貸付金回収額	54,751,527
基金取崩額	0
地方債発行額	3,189,000
公共資産等売却収入	3,180,325
その他収入	5,021,468
<b>収 入 合 計</b>	<b>66,142,320</b>
<b>投資・財務的収支額</b>	<b>77,114,243</b>
<b>翌年度繰上充用金増減額</b>	
当年度歳計現金増減額	4,193,693
期首歳計現金残高	7,744,153
期末歳計現金残高	11,937,846

1 一時借入金に関する情報

資金収支計算書には一時借入金の増減は含まれていません。  
平成20年度における一時借入金の借入限度額は50,000,000千円です。  
支払利息のうち、一時借入金利子は37,444千円です。

2 基礎的財政収支(プライマリーバランス)に関する情報

平成20年度普通会計公債費	104,446,902
平成20年度普通会計市債発行額	67,715,000
	<b>36,731,902</b>